

ふるさと応援団木島平会会報

6月11・12日 第10回総会交流会・ふるさと旅行開催

6月11日、第10回を記念する「ふるさと応援団木島平会」がスキー場のホテルパノラマランド木島平で開催されました。当日は、24人の会員とその友人が本村を訪れ、議員や行政委員の皆さん、会員の古くからの友人約40名の村内在住者と交流を深めました。

総会では、平成22年度の事業報告・決算、平成23年度の事業計画・予算が審議され、満場一致で可決され、終了後には、国際和太鼓コンテストで最優秀賞を受賞するなど、世界的に活躍する「鬼島太鼓」の勇壮な演奏を聞いたあと、交流会が始まりました。交流会では、地元の食材をふんだんに使った料理が出され、ふるさとの味



を囲みながら、昔話や村の近況について語りあい、交流を深めました。

2日目は、10周年記念ということで、木島平村内を旅行する「ふるさと旅行」を行いました。最初にやまびこの丘公園を散策したあと、馬曲温泉や郷の家、内山の湯や直売所のたる川を旅行しました。

コースには、昨年の春に寄贈した木島平小学校開校記念のブロンズ像見学も行い、その作者で木島平会の会員でもある猪瀬清四朗氏から説明を受けていました。

日本にスキーが伝えられて100年

練馬区在住 小賀坂道邦

1911年（明治44年）1月12日新潟県高田市の歩兵連隊でオーストリア・ハンガリー帝国（当時）のレルヒ少佐が専修将校へスキーの指導を行った。これが日本のスキー発祥とされている。翌年1912年（明治45年）1月長野県で最初にスキーが飯山に伝えられた。木島平村にスキーが伝えられたのは大正年代初期であったと思われる。

本格的に広くスキーの普及を見るのは第二次大戦後のリフトを備えたスキー場が整備されてからである。日本で最初にスキーリフトが架けられたのは1946年札幌藻岩山であり進駐軍専用であった。1963年開場した木島平村スキー場に第一リフトが完成したのは翌年である。1960年後半からスキーの普及は加速されて行った。1980年から90年前半のバブル時代にスキーブームは頂点に達し、スキー人口も93年には1800万人とも言われた。このころを境にスキー人口は減少の一途をたどり2009年には720万人と最盛期の四割まで落ち込み、スノーボード人口420万人を合わせても六割ほどである。木島平スキー場の利用者数も1995年の28万人を頂点に2009年には6万人弱にまで落ち込んでいる。100年の節目に当る今年、2年後に開場50周年を迎える木島平スキー場にもっと大勢の人に来て頂けるようにスキー場の魅力と多彩な木島平村の魅力を広く発信していきたい。

〔出展「レジャー白書2010」 「木島平村勢要覧」 「木島平観光（株）資料」〕

故郷「木島平の思い出」

茨城県在住 荻谷ます美

年を経れば経るほど懐かしくそして鮮明に思い出される故郷、それは高校卒業までの十八年間育った木島平村です。

溢れる程の思い出の中、特筆すれば中学校生活三年間の事。三つの小学校

からの卒業生が集められて木島平中学校へ通いました。児童から生徒となつて当時はスニーカーなど普及してなく、殆どの生徒たちが下駄をはいて舗装されていない石ころだらけの道路を朝夕通いました。新しい勉強の事や先生の話などを新しく出来た級友達とのんびりおしゃべりしたら帰る下校時間がとても楽しかったです。又夏休みには宿題の一つとして葉草を各自採取して休み明けに所定の量を提出した事、秋には全校生徒そろってイナゴ採りをした事。そのようにして集められた葉草やイナゴはそれぞれの業者が買い取りその代金は、生徒の為の学習用教材の購入にあてられた事など田園の中にある中学校にふさわしい教育の一環でした。この様な体験は、後年都会へ出て働くようになってからも脳裡を離れる事なく、ああ良い中学校生活を過ごせたのだなあと誇り高くもありました。日本全国の通例にもれず年々人口減少にある私達の育った素晴らしい木島平村がいつまでも健全な自治体として存続出来ます様いつも応援しております。

田舎いい仲間交流サイトの紹介

いくなか交流館 管理者 (総合政策課情報係)

本WEBサイト『いくなか交流館』は、木島平村を愛する会員組織『北信州木島平 田舎いい仲間本舗』が運営にあたっています。

小さな村だからこそできること、それはみんなで力を合わせて村づくりに取り組むこと「協働の村づくり」です。村民が一丸となって村づくりを進めることで、ふるさとへの愛着と誇りを育み、この村に住む人みんなが喜びを感じられる村づくりを目指しています。



『いくなか交流館』は、登録いただいた会員のみなさんを『むら人』と呼びし、村民と一緒にあって、信州の小さな村から交流の輪を全国に向けて広げていこうとの思いで開設されたものです。

『農を基軸とした交流』をキーワードに、『いくなか交流館』を訪れるみなさんに木島平村の旬の情報をお届けするとともに、『むら人』会員みなさんが安心して交流いただけるサイトを目指していきます。

木島平村は、長野県北部にある小さな村ですが、『自然劇場きしま平』が示すとおり、全国に誇れる豊かな自然と、沢山の資源があります。そして何よりも「ふるさと木島平」を思う多くの村民がいます。

木島平村を愛してくださる会員のみなさん一人ひとりの活力が加わることで、小さな村にとつての「大きな力」となり「元気の源」となります。小さな村の『むら人』となって、村づくりに参加してみたいかがでしょうか。みなさんの参加を心よりお待ちしております。

アドレス <http://www.ki.jimadaira-fan.jp/>

平成 23 年度

年会費の納入について

この会報と一緒に、総会で承認された年会費の納付書を同封しましたので、納入をお願いします。なお、行き違いで既に納入された方については、御容赦ください。



平成 22 年 4 月寄贈

「未来へ向かう」

木島平小学校開校
記念ブロンズ像

